



年表で振り返るWWDC

@yamakentoc

1990	<div><ul style="list-style-type: none">初のWWDC（05/07~05/11の5日間で開催）会場はサンノゼコンベンションセンター参加費は1日あたり195ドルで2154人が参加Macintosh用のOSであるSystem 7の発表セッションのリストなどが含まれたHyperCard Stackが参加者へ配布日本ではWWDCの内容を多く盛り込んだ開発者向けイベント“Japan Developers Conference”が97年まで開催</div>
------	---

1991	<div><ul style="list-style-type: none">QuickTimeの初公開デモApple IIやApple IIGSに関するアップデート拡張カードのMCPと、その上で動作するA/Rose（組み込みOS）のアップデート</div>
------	---

1992	<div><ul style="list-style-type: none">新しいPen Managerを有効活用したParacomp社の“Milo”の紹介とデモTranslation ManagerやQuickDrawについての発表</div>
------	---

1993	<div><ul style="list-style-type: none">電子メール、ファックス、インターネットメールなどを統合するシステム“OCE”(Open Collaboration Environment)のbeta版の配布AppleScript、Japanese Language Kitの発表</div>
------	---

1994	<div><ul style="list-style-type: none">Macintoshを68KプロセッサからPowerPCへ移行AppleとIBMなどが共同開発したOpenDocのデモ対話型ヘルプシステムであるMacintosh Guideの発表</div>
------	--

1995	<div><ul style="list-style-type: none">主に1994年に発表された次世代Mac OS Coplandに関する発表。同年11月にbeta版を開発者へリリースしたが、一般ユーザの手に届くことなく1996年には開発中止QuickTime VRの発表</div>
------	---

1996	<div><ul style="list-style-type: none">Component指向の開発frameworkであるOpenDocの発表。OpenDoc自体は1997年に開発中止OpenDocをベースとしたWebページのブラウジングやメールの送受信などが可能なCyberdogの発表</div>
------	---

1997	<div><ul style="list-style-type: none">1985年にAppleを離れたジョブズ復帰後初のWWDCジョブズが参加者の質問に答えるという例年の形式とは異なるQ&Aセッションを開催OS “Rhapsody”のデモ。後にMac OS X Server 1.0へ名称変更QuickTime VR 2.0のデモ</div>
------	---

1998	<div><ul style="list-style-type: none">Mac OS Xへの移行についての発表従来のアプリケーションをMac OS Xでも動作させるためのCarbon APIの紹介レンダリングシステムを従来のDisplay PostScript(DPS)からQuartzへの置き換えを発表。これはDPSの使用にAdobeへの高額なライセンス料が必要だったためという噂も</div>
------	---

1999	<div><ul style="list-style-type: none">PowerBook G3の発表、参加者1人にその場でプレゼントMac OS XのDeveloper Release1が当日に会場内で配布Mac OS Xで新規にアプリケーションを開発するためのCocoa APIの紹介</div>
------	---

2000	<div><ul style="list-style-type: none">Mac OS X Cheetahのデモを行い2001年にリリースと発表。価格は1万4800円基調講演を除く全てのセッションについて参加者へNDAを適用Apple Pro Mouse、Apple Pro Keyboardの発表今まで5万ドルで販売されていたWebObjectsが約100分の1の699ドルに値下げ</div>
------	---

2001	<div><ul style="list-style-type: none">発表されたMac OS X PumaではCheetahでサポートされてなかったWordやExcelがサポートWWDC 2001の1週間前に開店したApple Store1号店と2号店では2日間で7700人の来店があったと発表背中に“X”と刺繍された革ジャンが参加者に配布同年に初代iPodの発売</div>
------	---

2002	<div><ul style="list-style-type: none">発表されたMac OS X JaguarではiChatの搭載や、Universal Accessにより障がいを持つユーザでもMacを簡易的に操作することが実現手書き文字の認識システムであるInkwellの発表。後のmacOS Mojaveまで搭載</div>
------	---

2003	<div><ul style="list-style-type: none">Power Mac G5が発表Mac OS X Pantherでユーザを素早く切り替えるファストユーザスイッチングが導入Safari 1.0の正式リリースやSafari SDKの提供ビデオチャットソフト“iChat AV”や小型ビデオカメラ“iSight”の発表Pixarとの繋がりを強調し、映画“ファインディング・ニモ”の先行上映を夜に実施</div>
------	--

2004	<div><ul style="list-style-type: none">Mac OS X TigerでDashboardが搭載されたが2019年に廃止30インチのCinema Displayの発表クラスタファイルシステムのXsanの発表</div>
------	---

2005	<div><ul style="list-style-type: none">PowerPCプロセッサからIntelプロセッサへの移行を発表PowerPC向けのアプリケーションをIntelプロセッサでも実行できるRosettaの発表1つのアプリケーションパッケージにPowerPCとIntel両方で動作する実行コードを含めることが可能なUniversal Binariesの発表</div>
------	---

2006	<div><ul style="list-style-type: none">Intel CPU対応である初代MacBookの発表Mac OS X LeopardのBoot Campを使うことでMacハードウェア上でWindowsの動作が実現</div>
------	--

2007	<div><ul style="list-style-type: none">同年の1月に初代iPhoneの発表WWDC 2007の開催から2週間後に発売されるiPhoneのデモiPhoneのサードパーティアプリ開発をSafariのWebアプリとしてサポートすると発表Windows版Safariの発表。2012年にサポート終了同年に初代Apple TVが発売</div>
------	--

2008	<div><ul style="list-style-type: none">iPhone OS 2.0が発表され、アップデートはiPhoneが無料だがiPod touchは9.95ドルと有償で展開XcodeでiPhoneアプリ開発が実現最安モデルで2万円代となるiPhone 3Gの発表iCloudの前身であるクラウドサービスMobileMeの発表</div>
------	--

初のWWDCは1990年
<div><div>WWDC 1990が初のWWDCであったが、起源となるイベントは1983年から開催されていた。元のイベントはDevConというイベント名などであったが、1990年からWWDCへと変わった。</div><div></div></div>

愛称“おにぎり”（1992）
<div><div></div><div>System 3の時から日本語版のMacintoshのOSは“漢字Talk”という名称。System 7.1の日本語版である漢字Talk 7では“おにぎり”という愛称で呼ばれていた。</div></div>

Mac OS 9の葬儀（2002）
<div><div></div><div>Mac OS 9からMac OS Xへ完全に移行することを示すため、棺桶の中にMac OS 9を入れて模擬葬儀が行われた。</div></div>

Xcode 1.0（2003）
<div><div></div><div>WWDC 2003ではXcodeのDeveloper Previewを参加者に配布し、同年9月にXcode1.0をリリースした。当時はiPhoneがまだ発表されていないため、Mac OS X用のIDEとしてリリースされた。</div></div>

App Storeの開設（2008）
<div><div>ジョブズは当初、Safariで動作するWebアプリを作ることアプリ開発者に望んだ。しかし反対を受けてApp Storeを開設した。それまでは脱獄をしなければ純正以外のアプリをインストールできなかった。</div><div></div></div>

WWDC（Worldwide Developers Conference）は1990年から2024年現在まで毎年開催されている。本ポスターでは各年のWWDCでの出来事や、発表された技術などについて年表形式でまとめる。

2009	<div><ul style="list-style-type: none">iPhone 3GSの発表iPhone OS 3.0でコピペやpush通知の導入、In App Purchaseによる有料コンテンツの購入が実現App Store開設から9ヶ月で5万本のアプリが登録。アプリのダウンロード数が10億本達成Mac OS X Snow Leopardを9月に発売すると発表。同年10月にはMicrosoftからWindows7が発売</div>
------	--

2010	<div><ul style="list-style-type: none">iPhone 4の発表。それに合わせて充電ドックやバンパーケースが発売iPhone OSからiOSへ改名iOS 4.0からFaceTimeやGame Centerが追加審査に出されるアプリの95%が7日以内にApproveされるが、一部のアプリはPrivate APIを使用していることを理由に却下されていると言及同年に初代iPadの発売</div>
------	--

2011	<div><ul style="list-style-type: none">クラウドサービス iCloudの発表iOS 5.0からSiriやNotification Centerが搭載。ゲーム中であってもダイアログで通知が表示されないように改良OSレベルでTwitterと連携可能になり、写真アプリやSafariから直接ツイートする機能が追加Mac OS X Lionでは今までできなかったフルスクリーンでアプリを操作する機能を追加ジョブズ最後のWWDC</div>
------	--

2012	<div><ul style="list-style-type: none">MacBook ProのRetinaディスプレイモデルの発表iOS 6.0でのSocial frameworkの追加により、TwitterやFacebookへの投稿がアプリを通じて実現Googleからの要求により、標準搭載されていたテレビアイコンのApple製YoutubeアプリがiOS 6.0から消滅Mac OS XからOS Xへと名称変更され、同年にはOS X Mountain Lionが発表</div>
------	--

2013	<div><ul style="list-style-type: none">新しくMac Proが発表されたが、円筒形のデザインで未来的だがゴミ箱のようにも見えると注目発表されたiOS 7.0では、iOS全体のデザインがスクエーモフィズムからフラットデザインへ変更車のディスプレイモジュールとiPhoneを連携させる“iOS in the Car”(後のCarPlay)の発表今までMax OSのアップデートは有料で販売されていたが、この年発表されたOS X Mavericksからは無料で展開。また、名称がネコ科から地名へ変更</div>
------	--

2014	<div><ul style="list-style-type: none">従来のアプリ開発のための言語Objective-Cに代わるSwiftの発表WWDCのチケットが抽選形式に変更OS X Yosemiteの発表。デザインが刷新され、アイコンがフラットになるなどiOS 7に似た形式に変更iOSとMac間でAirDropの利用が実現iOS 8.0ではHealthアプリやWidgetが登場Metal API、SpriteKit、SceneKitといったゲーム向けのAPIの発表同年10月に米国でApple Payがサービス開始</div>
------	--

2015	<div><ul style="list-style-type: none">Swift 2.0でオープンソース化し、Linuxにも対応すると発表iPadでSplit Viewが搭載。Appleは各アプリでSplit Viewに対応したレイアウト調整を推奨Apple Musicのサービス開始。当初はストリーミングサービスが少なかったこともあり人気を獲得同年に初代Apple Watchの発売。発表されたwatchOS 2.0では単独で動作するアプリ開発が実現</div>
------	---

2016	<div><ul style="list-style-type: none">破壊的変更を含んだSwift 3.0の発表OS XをmacOSへ改名iPadでSwiftを学べるSwift Playgroundのリリース日本では同年にIOSDC Japan 2016が開催され、2024年現在まで毎年開催</div>
------	---

2017	<div><ul style="list-style-type: none">iOS 11でARKitが導入。デモとしてポケモンGOが紹介macOS High Sierraの発表Siri搭載のHomePodの発表同年にはAnimojiが搭載されたiPhone Xが発売</div>
------	---

2018	<div><ul style="list-style-type: none">発表されたmacOS Mojaveにてダークモードが追加ARKit 2.0ではAR環境を複数端末で共有する機能が追加CreateMLの発表により機械学習モデルの構築が実現iOS 12では自分自身の顔を基に3Dアバターを作成できるMemoji(ミー文字)が追加</div>
------	---

2019	<div><ul style="list-style-type: none">SwiftUIの登場により、宣言的な構文でUIの構築が実現iOS 13にてダークモードやSign in with Apple、Combine、RealityKitが導入iPad専用のOSとしてiPadOSが発表新型Mac Proが発売され、見た目が”cheese grater(チーズおろし器)”と話題シンボルフォントであるSF Symbolsが発表され、簡易的にアイコン実装することが実現</div>
------	--

2020	<div><ul style="list-style-type: none">COVID-19の影響でオンラインのみの開催iOS 14にてHome画面へのWidget追加が実現、他には翻訳アプリやPIPが追加App Clipによりアプリをインストールせずとも一部の機能利用が実現同年にM1チップを搭載したMacBook AirやMacBook Proが発売パーソナライズされた広告提供するためにiOS 14ではIDFA対応が必須化</div>
------	---

2021	<div><ul style="list-style-type: none">アプリ内のイベントを宣伝できるIn-App Eventsの登場Swift Playgroundsがアップデートされ、iPadのみでのアプリ開発が実現Focus Modesの登場によりTime Sensitiveなどの通知レベルが導入</div>
------	---

2022	<div><ul style="list-style-type: none">ロック画面でWidgetの配置やLive Activitiesが導入App IntentsによりSiriやShortcutsでアプリの機能の連携が実現</div>
------	---

2023	<div><ul style="list-style-type: none">Apple Vision Proの発表Privacy Manifests対応が全アプリで対応必須化</div>
------	---

2024	<div><ul style="list-style-type: none">Apple Intelligenceにより、GenmojiやWriting ToolsなどのAI活用が実現Apple Vision Proが日本でも発売</div>
------	--

iPhone 4試作期の漏洩（2010）
<div><div>Appleの従業員がBarでiPhone 4のプロトタイプを紛失。それを見つけた客がガジェット系ブログへ売ってしまい、WWDCを前にリークされた。</div><div></div></div>

詫びバンパー事件（2010）
<div><div>iPhone 4を特定の持ち方で持つと、外部アンテナが手で覆われてしまい通話が途切れるなどの問題が発生した。この問題にバンパーケースが有効となり、無料で配布された。</div><div></div></div>

パチンコガンダム駅（2012）
<div><div>以前はGoogle Mapsのデータを用いたマップアプリが搭載されていたが、iOS 6.0からAppleの地図データを用いたApple Mapsが搭載。リリース当初は不具合が多く、“パチンコガンダム駅”という存在しない駅が表示される不具合があった。</div><div></div></div>

71秒でチケット完売（2013）
<div><div></div><div>WWDCのチケットは先着順で販売されていたが、WWDC 2013では71秒でチケットが完売したため、翌年から抽選形式に変更となった。</div></div>

ATS対応（2016）
<div><div></div><div>アプリからの通信をhttpではなく安全なhttpsへ移行することが要求された。ATSを無効化することも可能だがAppleとしては非推奨とされていた。</div></div>

・ 初のWWDCは1990年： https://logos.fandom.com/wiki/Worldwide_Developers_Conference

・ 愛称おにぎり： <https://lifeisbeatfull.com/3085.html>

・ Mac OS 9の葬儀： <https://lostmediadwiki.com/File:20231-21675-Steve-Jobs-declares-OS-9-dead-WWDC-excerpt-2002-1.jpg>

・ Xcode 1.0： https://archive.org/details/Apples_MacOS_X_Xcode_Tools_1.0_for_MacOSX10.3plus

・ App Storeの開設： <https://xtech.nikkei.com/it/article/COLUMN/20080703/310052/>

・ iPhone 4試作期の漏洩： <https://support.apple.com/ja-jp/docs/iphone/133477>

・ 詫びバンパー事件： <https://arigato-ipod.com/2020/07/column-20-07-19.html>

・ パチンコガンダム駅： <https://internet.watch.impress.co.jp/docs/special/577659.html>

・ 71秒でチケット完売： <https://www.itmedia.co.jp/pcuser/articles/1306/11/news125.html>